



2026年5月27日

各 位

会社名 株式会社 Orchestra Holdings
代表者名 代表取締役社長 中村 慶郎
(コード番号：6533 東証プライム)
問合せ先 取締役 CFO 五代儀 直美
(TEL. 03-6450-4307)

SALTO の株式取得（連結子会社化）に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社 SALTO（以下「SALTO」という）の株式を取得し、子会社化することについて決議いたしました。

1. 株式取得の目的

この度、当グループに参画する株式会社 SALTO は、東京・大阪およびベトナム（ホーチミン・ダナン）に拠点を構え、約 230 名規模の体制を有し、請負開発・ラボ型開発・オフショア開発を中心としたシステム開発事業を展開しております。Java、PHP、Python 等を活用した Web システム開発に加え、AWS・Azure・GCP 等のクラウド領域、インフラ構築・運用まで幅広い技術領域に対応可能な高い技術力を有しております。また、防衛、AI、社会インフラなど、高い信頼性・安全性が求められる成長領域において強固な顧客基盤を保有しております。

当グループの DX 事業においては、ソフトウェア品質向上支援やシステム開発支援を中心に事業拡大を推進しておりますが、SALTO の参画により、請負・ラボ型を活用した柔軟な開発体制や、日本・ベトナムを活用したハイブリッドなリソース供給体制を取り込むことで、顧客ニーズへの対応力をさらに強化できるものと考えております。

また、SALTO は創業以来継続的な成長を実現しており、過去 3 年間増収を継続するとともに、今期も大幅な成長を実現しております。加えて、大手企業との豊富な取引実績を有しており、同社の顧客基盤や人的リソース、開発ノウハウを当グループ内で共有することで、DX 事業全体としての案件対応領域の拡大や収益基盤の強化を図るとともに、グループシナジーを通じた持続的な成長に寄与するものと考えております。

今回の M&A は、更なる成長戦略の一環として実施するものであり、今後も各事業との連携強化や多様な施策を通じて、企業価値の向上を目指してまいります。

2. 異動する対象会社（SALTO）の概要

(1) 名称	株式会社 SALTO
(2) 所在地	東京都新宿区新宿二丁目 8 番 6 号 KDX 新宿 286 ビル 7F
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 CEO 松山 純輝 代表取締役 CEO 丸山 麻子
(4) 事業内容	システム開発業
(5) 資本金	10 百万円
(6) 設立年月日	2015 年 9 月 16 日
(7) 大株主及び持分比率	個人株主 2 名 100.0%

(8) 上場会社と 当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2023年8月期	2024年8月期	2025年8月期
純資産	93百万円	141百万円	230百万円
総資産	478百万円	652百万円	759百万円
1株当たり純資産	818,717.45円	1,240,203.28円	2,018,426.68円
売上高	2,032百万円	2,048百万円	2,265百万円
営業利益	6百万円	16百万円	116百万円
経常利益	22百万円	69百万円	126百万円
当期純利益	13百万円	48百万円	88百万円
1株当たり当期純利益	116,040.95円	421,485.83円	778,223.39円
1株当たり配当金	—	—	—

(※1) 当該会社はベトナム子会社を有しておりますが、当該子会社の規模及び重要性を勘案し、上記数値は単体ベースで記載しております。

(※2) 2026年8月期の着地見込みは売上高2,600百万円、営業利益260百万円です。

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏名	個人株主2名
(2) 住所	個人であるため、相手先との協議により開示を控えさせていただきます。
(3) 上場会社と当該個人との関係	資本関係、人的関係、取引関係はありません。また、関連当事者にも該当いたしません。

4. 取得株式数、取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	-株 (議決権の数:-個) (議決権所有割合:-%)
(2) 取得株式数	114株 (議決権の数:114個)
(3) 取得価額	株式会社SALTOの普通株式 1,721百万円 デューデリジェンス諸費用等(概算額) 3百万円 合計額(概算額) 1,724百万円
(4) 異動後の所有株式数	114株 (議決権の数:114個) (議決権所有割合:100%)

(※1) 本件は株式会社SALTOとの直接取引のためアドバイザー費用は発生しません。

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2026年5月27日
(2) 契約締結日	2026年5月27日
(3) 株式譲渡実行日	2026年5月29日(予定)

6. 今後の見通し

本件株式取得に伴う2026年12月期の業績に与える影響につきましては、重要な影響を与えることが判明した場合には、速やかに開示いたします。

以上

SALTOの株式取得に関する補足資料



ORCHESTRA HOLDINGS

SALTOに関して



防衛、AI、社会インフラなど、高い信頼性・安全性が求められる成長領域において強固な顧客基盤を保有。
過去3年間増収を継続しており、今期も大幅に成長している。

■企業概要

会社名 株式会社SALTO
設立 2015年9月16日
事業内容 システム開発事業
従業員数 約230名
純資産 230百万円（2025年8月時点）



■業績推移

決算期	2023年8月期	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期 (予想) ※
売上高	2,032百万円	2,048百万円	2,265百万円	2,600百万円
営業利益	6百万円	16百万円	116百万円	260百万円

※2026年3月末時点（7か月間）で売上高1,531百万円、営業利益192百万円

■特徴

- ・日本・ベトナム連携によるハイブリッド開発体制を強みに、高品質かつ柔軟な案件対応を実現
- ・ラボ型・請負型開発を軸に、顧客ニーズに応じた拡張性の高い開発支援を展開
- ・大手企業との豊富な取引実績と継続成長を背景に、高い市場競争力を確立
- ・クラウド・インフラ・アプリ開発まで一気通貫で対応可能な総合技術力を保有

ソフトウェア開発事業を展開するSALTO社がグループに参画。

SALTO社の強固な顧客基盤と高い新規開拓力を活用し、グループ横断での開発ソリューション展開および案件創出を加速

本件M&Aの概要

取引概要

取得株式	SALTOの株式100%
契約締結日	2026年5月27日
株式取得日	2026年5月29日（予定）
取得会社	(株)Orchestra Holdings
取得価額	約17.2億円（DD諸費用等を含む） ※本件はSALTO社との直接取引のためアドバイザー費用は発生しません
取得資金	借入資金及び手元資金を充当
業績への影響	今期の営業利益増加要因となる見込み ※重要な影響を与える場合は速やかに開示

グループシナジー

- ・ラボ型・請負型開発体制の獲得により、大型案件への対応力と開発キャパシティを強化
- ・日本・ベトナム連携によるハイブリッド開発体制を活用し、柔軟なリソース供給を実現
- ・Web・クラウド開発とソフトウェアテストを組み合わせ、一気通貫で高品質な支援が可能
- ・防衛・AI・社会インフラ領域における顧客基盤獲得により、DX事業領域を拡大
- ・採用力・開発力・顧客基盤を共有することで、グループ全体の成長をさらに加速

- ・ DX事業は、SALTOの参画により新規獲得力と顧客基盤を拡充し、持続成長体制を構築。
 - ・ DM事業は、LLMO領域の需要拡大に対応した自社AIサービスの推進と営業体制の強化により新規受注が急増し、再成長を開始。
- 加えて、昨今の大手顧客の経営変革ニーズに応えるため、DX事業とDM事業を融合した高度な支援体制の構築を目指す。
- より横断的なサービスの提供を推進すべく、**コンサルティングチーム**を構築中

コンサルティングチーム

DX事業とDM事業を横断的に接続することで、**他社にない付加価値と競争優位性**を創出していく

DM事業

全体設計



データ分析



認知広告



運用型広告



製作



メタバース
マーケティング



LLMO



SEO



DX事業

クラウド
インテグレーション



システム開発



データ活用
コンサルティング



ITコンサルティング



ソフトウェア
テスト



セキュリティ
コンサルティング



自動認識システム



デジタルツイン



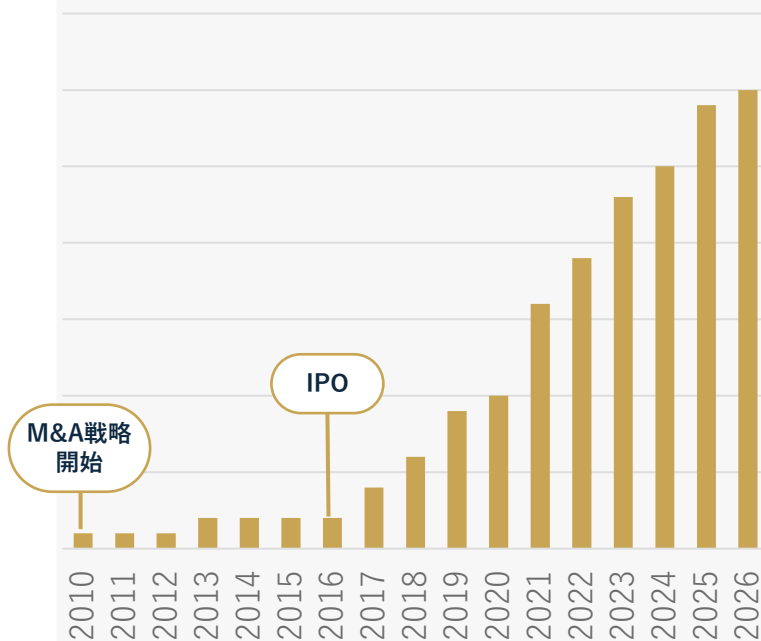
←SALTO
が参画



M&Aにおける強み・特徴

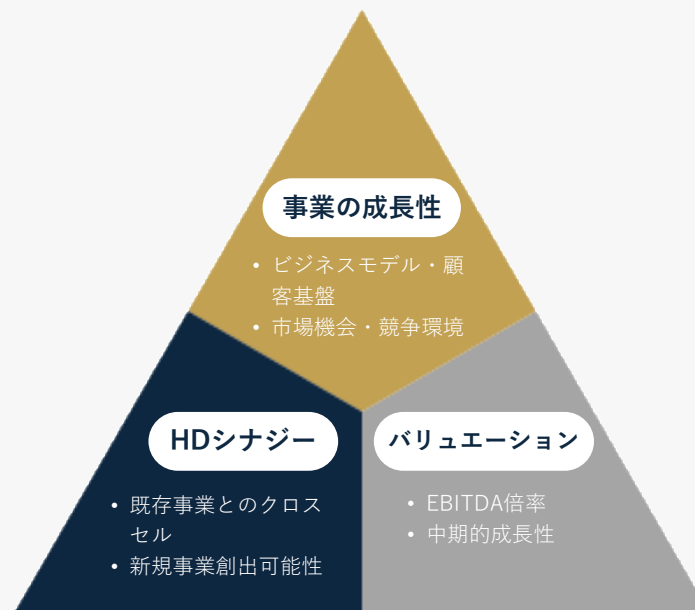
30件の投資実績により蓄積された投資・PMIノウハウ、エグゼキューション力が強み

累計 **30**件



投資基準

「成長性」「HDシナジー」「バリュエーション」の3項目を投資基準に、投資企業を厳選



投資戦略

新規領域と既存領域の両軸で検討

01

TAMを拡大するためのM&A

M&Aの活用により、新たな成長市場への参入を進める。既存事業とシナジーを生むことができる隣接市場を中心に検討。現在は、ITコンサルやERP導入など上流開発領域企業、セキュリティ領域企業、を主に検討している。

02

ロールアップ戦略のためのM&A

複数の同業他社のM&Aにより、サービスラインナップ・顧客基盤・人的リソースを拡充していく。

DM事業・DX事業に加え、IP・エンタメ領域でも案件を検討している。

本件M&Aの目的、及び主要事業におけるM&A実績

SALTO社のグループ参画により、エンジニアを中心に約230名が合流。
顧客基盤や開発・営業リソースの共有により、DX事業の成長を加速。



※1 出所: 電通 「日本の広告費」 ※2 出所: 経済産業省 「情報通信業基本調査」 (ソフトウェア業の売上高より算定) ※3 出所: 独立行政法人情報処理機構 (IPA) 「ソフトウェア開発分析データ集」

※4 TAM=Total Addressable Market (獲得可能な最大市場規模) ※5 出所: XENO BRAIN 「市場規模予測 ゲームソフトメーカー」
©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

Vision

創造の連鎖

- 事業を通じて創造の志士を輩出し続ける -



ORCHESTRA HOLDINGS